

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所

2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年12月13日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年12月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【2号機原子炉建屋環境改善作業における顔面汚染発生について】</p> <p>2号機原子炉建屋西側構台前室において、除染作業に従事していた協力企業作業員が、作業終了後に1～4号機出入管理所の体表面モニタを通過した際、顔面へ放射性物質の付着を確認。鼻腔スミアを実施したところ、内部取り込みのおそれがあると判断。その後、除染を実施し、退域基準を下回ったことから退域。入退域管理棟救急医療室の医師による問診により、体調に異常なしと診断。今後、顔面汚染の原因分析を行うとともに、再発防止対策を検討し実施予定。</p>	G I	12月11日	2023年12月19日 グレード変更 G II → G I 理由:「内部取り込み」であるため、不適合グレードを「G I」へ変更した。
2	<p>【配電線切替に伴う不要停電箇所の発生について】</p> <p>当社社員が、配電線拡充工事による切替操作において、本来は2号No.1配電塔の2番回路を開放するところ、別の回路を開放してしまい4・5号配電線の一部を停電させた。当該停電箇所に異常なしを確認したことから、回路を投入し、停電を復旧。今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	G III	12月7日	
3	<p>【定検機材倉庫A棟での頭部負傷について】</p> <p>定検機材倉庫A棟において協力企業作業員が、コンテナに切断したフランジタンク片を積込む作業のため、トレーラー荷台にて誘導を実施。積み込み後に後退するフォークリフトの誘導を行うため、作業員は地上に降りようと踏み台に向かう途中でバランスを崩し荷台から転倒。近傍にあったフォークリフトのフェンダーに右側頭部を強打し負傷。なお、不慮災害となっている。今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	12月8日	